



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9008 URL http://www.keio.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画本部経理部 (氏名) 木村 創 (TEL) 042-337-3135  
 経理担当課長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	98,753	2.7	10,420	9.4	9,896	11.4	6,206	14.2
25年3月期第1四半期	96,182	3.9	9,522	10.6	8,885	9.5	5,433	16.3

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 8,026百万円(101.2%) 25年3月期第1四半期 3,988百万円(△6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	10.16	—
25年3月期第1四半期	8.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	759,760	283,782	37.3
25年3月期	793,293	278,834	35.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 283,617百万円 25年3月期 278,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.50	—	4.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 25年3月期期末配当金の内訳 記念配当 1円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	198,200	2.2	17,100	4.2	15,200	3.9	9,000	1.6	14.73
通期	404,600	2.0	29,600	5.6	26,000	6.0	15,800	7.1	25.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、【添付資料】6ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	642,754,152株	25年3月期	642,754,152株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	31,943,045株	25年3月期	31,913,132株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	610,817,336株	25年3月期1Q	610,985,891株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、【添付資料】5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	6
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当第1四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	96,182	98,753	2,571	2.7	396,860
連結営業利益	9,522	10,420	897	9.4	28,022
連結経常利益	8,885	9,896	1,011	11.4	24,538
連結四半期(当期)純利益	5,433	6,206	773	14.2	14,748
連結E B I T D A	17,697	18,596	898	5.1	63,032
連結減価償却費	8,073	8,074	1	0.0	34,605

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国経済は、円安による輸出環境の改善や景気対策、金融政策の効果などを背景に、持ち直しの動きが見られます。

このような情勢のもとで、当社グループは、平成22年度を初年度とする「京王グループ中期5カ年経営計画」に基づき、公共輸送機関として欠かすことのできない安全性の向上や沿線の活性化を推進するとともに、「コスト構造の転換」と「財務体質の強化」を重視し、最終年度である平成26年度の目標達成に向けた施策を着実に実行しております。

その結果、連結営業収益は、流通業を除く各セグメントで増収となり987億5千3百万円(前年同期比2.7%増)、連結営業利益は、流通業を除く各セグメントで増益となったことから104億2千万円(前年同期比9.4%増)となりました。連結経常利益は98億9千6百万円(前年同期比11.4%増)、連結四半期純利益は、62億6百万円(前年同期比14.2%増)となりました。

なお、連結E B I T D Aは、185億9千6百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

また、連結減価償却費は、80億7千4百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

## ②当第1四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益又は損失(△)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	31,724	31,752	0.1	4,804	4,808	0.1
流通業	40,457	40,404	△0.1	1,779	1,768	△0.6
不動産業	6,589	8,111	23.1	2,273	2,740	20.6
レジャー・サービス業	15,361	16,022	4.3	1,221	1,410	15.5
その他業	7,870	8,844	12.4	△579	△333	—
計	102,003	105,136	3.1	9,497	10,395	9.5
連結修正	△5,820	△6,382	—	24	24	△0.8
連結	96,182	98,753	2.7	9,522	10,420	9.4

## ( 運 輸 業 )

鉄道事業では、旅客運輸収入は前第1四半期連結累計期間並みの0.0%減（うち定期0.5%増、定期外0.4%減）となりました。一方、バス事業では、路線・高速で増収となりました。これらの結果、営業収益は317億5千2百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は48億8百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

## ( 流 通 業 )

百貨店業では、景気回復局面において個人消費が堅調に推移したことにより増収となりました。一方、ストア業などでは既存店の売上低迷などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は404億4百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は17億6千8百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

## ( 不 動 産 業 )

不動産賃貸業では、昨年度に取得した賃貸マンションが通期稼働したことなどにより増収となりました。また、不動産販売業では、株式会社リビタの販売戸数が増加したことなどにより増収となりました。これらの結果、営業収益は81億1千1百万円（前年同期比23.1%増）、営業利益は27億4千万円（前年同期比20.6%増）となりました。

## ( レジャー・サービス業 )

ホテル業では、「京王プラザホテル」で外国人利用客の増加により、客室稼働率が好調に推移したことに加え、客室単価も向上したことなどにより、増収となりました。旅行業では、積極的な営業展開による団体旅行の増加などにより増収となりました。また、広告代理業では、既存顧客からの受注額の増加や大型案件の受注などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は160億2千2百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は14億1千万円（前年同期比15.5%増）となりました。

## ( そ の 他 業 )

ビル総合管理業や建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は88億4千4百万円（前年同期比12.4%増）、営業損失は3億3千3百万円となりました。

## [鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	95,018	95,338	0.3
	定期外	〃	66,795	66,272	△0.8
	計	〃	161,813	161,610	△0.1
旅客運輸収入	定期	百万円	8,463	8,503	0.5
	定期外	〃	11,308	11,263	△0.4
	計	〃	19,771	19,767	△0.0

## [業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	20,570	20,624	0.3	80,974
	バス事業	8,375	8,518	1.7	33,060
	タクシー業	3,228	3,134	△2.9	13,132
	その他	549	556	1.3	2,464
	消去	△1,000	△1,081	—	△4,332
	営業収益	31,724	31,752	0.1	125,300
	営業利益又は損失(△)	4,804	4,808	0.1	8,852
流通業	百貨店業	22,487	22,698	0.9	90,680
	ストア業	9,200	9,154	△0.5	36,482
	書籍販売業	2,620	2,543	△2.9	10,368
	駅売店業	2,201	2,082	△5.4	8,430
	ショッピングセンター事業	2,676	2,636	△1.5	10,530
	その他	2,920	2,937	0.6	11,537
	消去	△1,648	△1,649	—	△6,594
	営業収益	40,457	40,404	△0.1	161,434
	営業利益又は損失(△)	1,779	1,768	△0.6	5,327
不動産業	不動産賃貸業	7,175	7,375	2.8	29,380
	不動産販売業	1,584	2,257	42.5	9,868
	その他	226	225	△0.6	1,178
	消去	△2,396	△1,746	—	△8,803
	営業収益	6,589	8,111	23.1	31,624
	営業利益又は損失(△)	2,273	2,740	20.6	9,283
レジャー・サービス業	ホテル業	10,477	10,801	3.1	42,187
	旅行業	3,616	3,701	2.4	16,660
	広告代理業	2,021	2,299	13.7	10,420
	その他	1,634	1,599	△2.1	5,991
	消去	△2,387	△2,379	—	△9,593
	営業収益	15,361	16,022	4.3	65,665
	営業利益又は損失(△)	1,221	1,410	15.5	4,075
その他業	ビル総合管理業	4,057	4,147	2.2	21,275
	車両整備業	1,356	1,344	△0.9	8,641
	建築・土木業	1,726	2,409	39.6	16,389
	その他	1,119	1,390	24.2	5,724
	消去	△390	△447	—	△2,340
	営業収益	7,870	8,844	12.4	49,690
	営業利益又は損失(△)	△579	△333	—	1,024

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額
総資産	793,293	759,760	△33,533
負債	514,459	475,978	△38,481
純資産	278,834	283,782	4,948
負債及び純資産	793,293	759,760	△33,533
有利子負債	356,366	333,810	△22,555

(注)有利子負債は、借入金 + 社債 + 鉄道建設・運輸施設整備支援機構未払金により算出しております。

当第1四半期連結会計期間の総資産は、短期資金運用を目的とした譲渡性預金の減少や、現金及び預金の減少などにより335億3千3百万円減少し7,597億6千万円となりました。

負債は、第23回無担保割引社債の償還や工事代金の支払いなどにより384億8千1百万円減少し4,759億7千8百万円となりました。

純資産は、連結四半期純利益の計上などにより49億4千8百万円増加し2,837億8千2百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間の有利子負債は3,338億1千万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間、通期とも、前回公表時（平成25年4月30日）の予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,315	35,201
受取手形及び売掛金	32,204	27,901
有価証券	35,550	20,003
商品及び製品	14,682	14,746
仕掛品	7,574	7,569
原材料及び貯蔵品	1,590	1,633
その他	7,708	8,690
貸倒引当金	△94	△94
流動資産合計	147,530	115,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	305,351	301,204
土地	175,153	175,199
建設仮勘定	38,866	41,078
その他(純額)	45,192	43,277
有形固定資産合計	564,563	560,758
無形固定資産		
投資その他の資産	10,745	10,376
投資有価証券	54,571	57,438
その他	16,169	15,821
貸倒引当金	△286	△286
投資その他の資産合計	70,453	72,973
固定資産合計	645,763	644,108
資産合計	793,293	759,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,189	13,130
短期借入金	60,612	60,446
1年内償還予定の社債	30,000	10,000
未払法人税等	2,765	3,815
引当金	4,493	4,521
その他	80,338	67,096
流動負債合計	195,399	159,010
固定負債		
社債	129,411	129,460
長期借入金	136,066	133,627
退職給付引当金	20,961	20,777
その他	32,621	33,102
固定負債合計	319,060	316,967
負債合計	514,459	475,978
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,008	42,008
利益剰余金	186,342	189,495
自己株式	△19,279	△19,303
株主資本合計	268,095	271,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,580	12,388
為替換算調整勘定	1	4
その他の包括利益累計額合計	10,581	12,392
少数株主持分	156	165
純資産合計	278,834	283,782
負債純資産合計	793,293	759,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	96,182	98,753
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	75,242	77,086
販売費及び一般管理費	11,417	11,247
営業費合計	86,659	88,333
営業利益	9,522	10,420
営業外収益		
受取利息	22	22
受取配当金	481	569
匿名組合投資利益	98	88
持分法による投資利益	32	27
雑収入	259	138
営業外収益合計	894	846
営業外費用		
支払利息	1,417	1,296
雑支出	113	73
営業外費用合計	1,531	1,370
経常利益	8,885	9,896
特別利益		
工事負担金等受入額	224	200
固定資産売却益	58	58
その他	—	0
特別利益合計	283	259
特別損失		
固定資産圧縮損	224	200
退店補償金	—	148
固定資産除却損	90	60
その他	46	0
特別損失合計	362	410
税金等調整前四半期純利益	8,806	9,745
法人税等	3,371	3,529
少数株主損益調整前四半期純利益	5,435	6,215
少数株主利益	1	8
四半期純利益	5,433	6,206

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,435	6,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,446	1,808
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	△1,446	1,811
四半期包括利益	3,988	8,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,986	8,018
少数株主に係る四半期包括利益	1	8

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	31,724	40,457	6,589	15,361	7,870	102,003	△ 5,820	96,182
セグメント利益 又は損失(△)	4,804	1,779	2,273	1,221	△ 579	9,497	24	9,522

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	31,752	40,404	8,111	16,022	8,844	105,136	△ 6,382	98,753
セグメント利益 又は損失(△)	4,808	1,768	2,740	1,410	△ 333	10,395	24	10,420

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。